

平成28年度 学校自己評価システムシート

(私立 春日部共栄高等学校)

目指す学校像	全人的人間の育成という精神を基礎として、知、徳、体の調和のとれた豊かな人間性を育み、社会の発展に寄与する有能な人材を養成する。
--------	---

重点目標	1 社会貢献の意識を基礎とした高い志を育む自治活動の展開 2 生徒からの期待や信頼に高い水準で応え得る授業の実践 3 生徒の可能性を引き出し、生徒の夢を実現する進路指導の充実 4 生徒、保護者、卒業生をはじめとする学校関係者への情報提供の推進
------	--

達成度	A	目標がほぼ達成できた
	B	目標が概ね達成できた
	C	取り組みに変化の兆しがみられた
	D	取り組みが不十分であった

＜学校関係者評価委員会＞	
協議委員(学校関係者)	7名
内部委員(教職員)	8名

学校自己評価					学校関係者評価	
年度目標			年度評価		最終実施日 平成29年3月25日	
番号	評価項目	具体策と評価指標	達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	①「至誠一貫」の精神のもと、規範意識を高めリーダーシップを発揮できる人材育成とその伝統づくり  ②年齢に応じた社会貢献やボランティア活動の実践  ③生徒どうしが互いに応援しあい、達成感を共有できる環境づくり	・「日頃から心がけよう！他人への配慮十か条」の有効活用 →学校生活アンケート設問1・2で①の回答率50%以上 設問3・4で①②の回答率80%以上 ・委員会活動報告や方面別通学会報告等、生徒主体の情報発信 →学校生活アンケート設問5で①②の回答率80%以上  ・誰でも参加できるボランティア活動への年間を通じたはたらきかけ →学校生活アンケート設問6で①②の回答率80%以上 ・災害時、緊急時の対応と地域への社会貢献 →学校生活アンケート設問7で①②の回答率80%以上  ・「快音」等を利用した啓蒙活動の充実および意識啓発 →学校生活アンケート設問8で①②の回答率80%以上	・設問1・2では、学年が上がる毎に①②の回答が上昇する傾向が見られ指導の定着が感じられるとともに、保護者アンケートの結果から「十か条」を活用した指導が保護者からも支持されている様子が伺える。 ・自転車の交通マナーについては、各学年とも高い数値を示しており、掲示物や配付プリント、また安全講習会等の効果が現れている。 ・自治活動についても校内での定着は感じられるが、教員の意識と生徒の意識にやや乖離があり、一部形骸化している懸念がある。 ・ボランティアへの意識は生徒、教員ともにやや低調であるが、サンタ大作戦やペットボトルキャップ集めなど、多くの生徒が参加している活動もあり、その意味を再認識したい。 ・「快音」による情報提供は定着しており一定の効果は現れているが、特定のクラブだけでなく、それぞれのクラブの目標や実情に応じた情報提供も必要である。	A   B   A	・生徒の規範意識に関する自己チェックは向上しているが、外部からの苦情がゼロではないので重点項目や重点期間を設定し、効果的な登下校指導を計画していく。 ・スマホや携帯に関するルール、情報モラルについては、関連機関との連携を図り、生徒と保護者の意識の差を踏まえながら、保護者も巻き込む形で講演会などの機会を設ける。 ・各委員会でのやりがいや達成感をはかる工夫として、数値的データを裏付けにしながら、向上している部分を互いに共有することで問題点を明確化し、生徒が主体的に共栄独自のルールを作成できるようにしていく。 ・ボランティアへの意識啓発を教員がリードしやすいように「快音」の利用やボランティアをテーマとしたLHRの導入を考えていく。 ・クラブ部長会議やクラブ会議を通じて、お互い応援したり、規範面で注意し合えるムードをつくっていく。	・スマートフォン、携帯電話利用に関する共栄ルールについて、難しい部分もあると思うが状況の変化にうまく対応しながら運用して欲しい。  ・ボランティア活動への参加がなかなか活性化していかない様子であるが、強制であったとしてもまずはやってみることが大切であり、その経験を次へ活かしていく工夫を期待する。  ・防災教育に関しては、学校の中での取り組みだけでなく、生徒それぞれの居住地で実施されている防災訓練への参加も促し、地域への貢献も意識づけて欲しい。
2	①生徒の自己学習力育成を可能にする授業の実践  ②授業点検と改善の実施	・家庭学習の模範モデル(先輩に学ぶ)の定期的な提示 →学校生活アンケート設問9で①②の回答率80%以上 ・生徒個々の家庭学習計画の作成と実践 (日課表・スタディポートの利用) →学校生活アンケート設問10～12で①②の回答率70%以上 ・入試問題から逆算した各分野、単元での<重要問題>の提示 ・<重要問題>を意識したシラバスの作成 →学校生活アンケート設問13で①の回答率70%以上  ・授業アンケートの活用による授業点検と改善 →授業アンケート総合満足度で①②の回答率85%以上	・「学習モデル」「先輩の学習状況」などの提示は変わらず高評価。今後、これらをより有効なものにするために手立てを具体化する必要がある。 ・日課表、スタディポートについては一定評価はあるものの、「自習時間」「計画学習」の項目では生徒個々で隔たりが大きい部分もある。 ・「重要問題」重視の姿勢がそのまま「定期試験」に向かう生徒の意識の高さを示している。 ・授業アンケートは全教科、全クラス実施の2年目。総合満足度は高評価だが、教科担当者やクラスごとにはばらつきも見られ、懸念される部分については改善に向けて個別に対応した。 ・アクティブラーニング関連では、研修への参加や受講だけではなく、いくつかの教科で次年度につながる実践的な取り組みが見られた。	A   B	・教務部主体でLHR計画を再考・立案し直し、コース編成や進路選択と関連づけながら資料(情報)のより有効な活用をはかる。 ・基軸となるスタンダードな「計画モデル」を提示し、他に「課題克服型」を創案。各自が「自学自習」の型を身につけるべくリードする。 ・「重要問題」や「定期試験」への意識の高さをポイントを絞った授業展開や年間の授業計画の見直しに役立てていく。 ・保護者アンケートの結果も真摯に受けとめ研鑽に励むべき。諸課題の中には、すぐには解決できない性質のものもあるが、粘り強く取り組む。 ・アクティブラーニング型授業への研究、実践を促し、<入試問題の解析>と合わせて<考える授業展開>に生かせるよう検討を続けたい。	・学校の災害対応マニュアルを保護者へも提示し、何かあったとき、それぞれの保護者がどう対応できるのかを学校として把握しておくことも大切である。  ・選挙への若い世代の参加はとても大切なことであるので、学校としても引き続き18歳選挙権への関心を高めて欲しい。  ・学習の模範モデル(先輩に学ぶ)の提示について、成功例だけでなく失敗談もあると、より切実な話として生徒が捉えてくれるのではないかと。
3	①生徒の可能性を引き出し、生徒個々に応じた進路開拓と大学選択  ②進学講習や模試等の仕掛けによる学力増進	・「進学通信」等を利用した啓蒙活動の充実および意識啓発 →学校生活アンケート設問14で①②の回答率80%以上 ・オープンキャンパス等を利用した主体的な進路研究の実践 →学校生活アンケート設問15で①②の回答率80%以上 ・生徒・保護者対象進路説明会の実施と保護者からの意見集約 →保護者アンケート設問8で①②の回答率80%以上  ・各種講習や試験の整理、充実と活用 →学校生活アンケート設問16、17で①②の回答率80%以上	・設問14、15ともここ数年安定した数値で推移しているが、引き続き、生徒が理解しやすく、より取り組みやすい具体的な形を追求していく必要がある。 ・設問16の講習についても若干の改善の様子は伺えるが、内容面でより魅力的な講習を提供することが必要。 ・設問17も、数値の上昇は見られなかった。ベネッセなどのIT教材、またLBノート等のより有効な活用を行いたい。	A   B	・4月の進路説明会への保護者の参加をさらに促し、推薦入試も含めた現在の大学受験を取り巻く現状、また合格基準偏差や推薦入試の基準など、より具体的な情報を使って発信する。 ・今年度変更した講習形式を踏襲しながら、扱う分野や項目を絞って提示するなど内容をより具体化させていく。講習の展開もアクティブラーニングの導入など、工夫を施していく。 ・3年生文系3科型など、各コースに応じた講習内容を実施する。	・2020年新テストに向けて、アクティブラーニングの導入は不可欠。共栄独自の授業スタイルの確立に期待する。  ・教員どうしの授業相互見学を有効に活用して欲しい。  ・駅前学習センターの設置は画期的であり、生徒がうまく利用して成果につなげて欲しい。
4	①本校Webサイト等を活用した学校関係者への情報発信	・ホームページの刷新による充実と効果的な運用 →保護者アンケート設問9で①②の回答率80%以上 ・保護者向け一斉メール配信の有効活用 →保護者アンケート設問10で①の回答率80%以上	・刷新後のホームページをまだ見ていないという保護者が多かったが、閲覧した方からは概ね高評価が得られた。 ・保護者アンケートでの目標には一歩届かなかったが、多くの保護者から有用であるとの回答が得られ、実際に有効に機能している。	A	・ホームページを公式の情報源として周知するとともに、受験生やその保護者を意識した情報提供を行う。 ・今後も同様の情報提供に務め、さらに行事や説明会への参加確認、またアンケートなど、回答機能の利用も検討していく。	・大学進学における医学部医学科への実績は春日部共栄の特長のひとつであると思うので、引き続き伸ばして欲しい。